

議員提出第 5 号議案

米軍普天間基地の無条件撤去を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成22年6月22日

提出者	府中市議会議員	目 黒 重 夫
賛成者	〃	赤 野 秀 二
	〃	服 部 ひとみ

米軍普天間基地の無条件撤去を求める意見書

鳩山前政権は、沖縄・普天間基地問題は、「国外、最低でも県外」との公約を掲げていたが、結局、名護市・辺野古の海を埋め立て、新基地を建設する方針となった。さらに、この方針は、鹿児島県・徳之島と本土にも訓練を分散するというもので、自民・公明政権時代の方針よりも後退したものとなり、沖縄県民や国民の怒りを買って、政権退陣につながった。

後を引き継いだ菅新政権だが、前政権の対応への反省もなく、5月28日に交わされた「県内移設」と「基地拡散」という日米合意を踏襲すると表明している。

約9万人が参加した4月25日の沖縄県民大会などで、沖縄県民の願いが米軍普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去にあることは明らかである。また、日常生活に騒音被害や米兵犯罪の危険をもたらす基地の「移設」を受け入れるところもない。

そもそも普天間基地を含む沖縄の米軍基地は、戦後、アメリカが沖縄を占領していた時期に住民から不当に土地を奪って、半世紀以上にわたって居座ってきたものである。それを撤去するからといって、移設先を求めることには道理がない。

よって、府中市議会は、国会及び政府に対し、普天間基地については、「日米合意」を白紙に戻し、無条件撤去の立場でアメリカと交渉するよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月22日

議 長 名

(あて先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、
防衛大臣